

Into my Packet



後藤滋樹の

新・社会楽

後藤滋樹 (goto@ntt-20.ntt.jp)
日本電信電話株式会社
ソフトウェア研究所

第1回 プラハの夏

インターネット学会は、毎年INETという国際会議を開催している。今年のINET '94は6月15日から17日まで、プラハ(チェコ)で開かれた。私はちょうど5年前の1989年の6月にプラハを訪問したことがある。5年前のチェコスロバキアは共産党政権であった。この5年間にプラハがどのように変化したのか、大いなる興味を抱いて旅行に出発した。

街の風景で一番変化を感じたのは、自動車の台数が増えたことである。5年前のプラハで見かけた車はスコダ(あるいはシュコダと発音するのかもしれない)という国産車が主であった。チェコ版のトラバントと思えばよい。車体が小さく、トランクにスーツケースが1個しか入らなかったのを覚えている。また台数も少なかった。現在の街中はフォルクスワーゲンが主となり、その数もおびただしく、その他のドイツ車や欧州の車も見かける。さらには交通渋滞も発生しているではないか。

2番目の発見は地名の変化である。たとえばプラハの街から空港に出るには、地下鉄の終点からバスに乗る。その地下鉄の駅の名前が、5年前の地図ではLeninova、今の駅名はDejvickaである。国際会議場の最寄駅の名はGottwaldova、これがいまではVysehrad。「こんなに名前が変わったのでは僕の地図は役に立たないや」と私がいうと「え、変わったのではないわよ。元に戻ったのよ」と案内カウンタ嬢。そうだ、元に戻ったのだ。

地図の上では別の発見もある。観光名所の説明の順序が5年前の地図では(1)チェコ語、(2)ロシア語、(3)英語、(4)フランス語、(5)ドイツ語、(6)イタリア語の順であった。その地図と全く同じ体裁の現行版では(1)チェコ語、(2)ドイツ語、(3)英語、(4)フランス語、(5)イタリア語、(6)ロシア語の順序に変わっている(戻っている)。街の中にロシア語の表記が残っていないかと捜してみると、地下鉄の車両の中の製造工場の表示プレートがロシア語のままであった。

言語に関しては5年前の思い出がある。プラハの大学で研究者と会ったときには「やはり研究には英語が重要だと思って勉強

している」といていた。当時の共産党政権のお役人に挨拶に行くとき「そりゃ君、外国語として一番大切なのはロシア語だからね」とのご託宣があった。夜に街に出てレストランで本場のビールを注文すると、英語で注文してもフランス語で注文してもウェイターが振り向いてくれない。一緒に会議に参加していた東大の堀浩一先生に「堀さん、ドイツ語で注文してくださいよ」と頼んだところ、一言の注文でOKだったばかりでなく、結局ビールは無料ですんでしまった。そのときに聞いた話では、住民の中にはドイツ系の人が相当いる由。昔でいえばオーストリアハンガリー帝国ということか。

昔といえ、プラハは歴史的に「権威を疑う町」だと思う。市街の中心の広場にはボヘミアの宗教改革者フス(免罪符を否定したことで有名)の像がある。市街にはヨハネス・ケプラーと彼の先生の像があり、その横の小学校はケプラー小学校である。科学する心が大切なのだ。お城の近くにはカフカのアトリエ跡が残っている。「そうか、東ヨーロッパの伝統は『疑う』ことなのか」というと、またまた指摘されてしまう。「東ヨーロッパなんて言葉は知らない。もしプラハを指すなら中央ヨーロッパと呼んでくれ」。そうだ中央という意識が大切なのだ。

さてINET '94は何といてもインターネットなので、チェコのネットワーク事情にも興味がある。今回の旅行で滞在したホテルの部屋にはPrague Postという英字新聞が入っていた。なにに、同紙はチェコとスロバキア(いまは分離して2つの国)ばかりでなく東ヨーロッパ(失礼!中央ヨーロッパ)の一般ニュース、商業、政治、文化、スポーツ、娯楽の記事を載せているのだという。英語で読める新聞は有難い。ドイツ語の新聞ならばタダかもしれないが、どうせホテルなのでPrague Postもタダで読める。あれれ、この広告は何だろう。新聞の申込がインターネットの電子メールでできるのか。うーむ。これは日本より進んでいるのではないか。traveller.CZというドメイン名は何やら謎めいているが、日本に帰ったらこれをインターネットマガジンの編集部に見せてあげよう。



国際会議場の周辺で渋滞する車。写真では見えにくいですがワーゲンの同型車が多い。

ad!

The Prague Post now has

E-Mail.

For accurate information about subscriptions, advertising, and articles, write us at:

PRGPOST@Traveller.CZ

THE PRAGUE POST

Prague Postの広告



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp